

軽石を回収した後の処理も課題となる。海中を漂った軽石には塩分が含まれ、大量に放置すると塩分が流出し周辺の土壤に影響を及ぼしかねない。

沖縄県は現在、県管理の土地に仮置き場を作って保管する。有害物質を含んでいる可能性もあるが、県は一部の軽石の成分を分析した結果、カドミウムなどの有害物質が、国の定める土壌環境の基準値以下だった

## 回収後の処理方法課題

### 有害物質含む可能性も

と明らかにした。

今後、ほかの地域の軽石も分析し、安全性を確認できれば、農業や土木資材への利用を検討するという。

産総研の及川氏は「どの機関がどういう手順で軽石を処理するか、行政は事前に決めておくべきだ。採石場など環境への影響が小さい置き場を事前にリストアップしておくことも必要だろう」と話す。